

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ五所川原市実行委員会設立趣意書

令和6年から「国民体育大会」から名称が変更となった「国民スポーツ大会」は、昭和21年大会から、国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として開催されます。

本県においては、47年前の昭和52年に「心ゆたかに力たくましく」をスローガンに、第32回大会「あすなる国体」が開催され、本市では柔道、ソフトボール、自転車競技の会場地として、全国の優れた選手の熱い戦いが繰り広げられ、市民のスポーツに対する関心を高めるとともに、スポーツの普及・振興に大きな影響を与えたところです。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、国民のスポーツに対する機運が高まる中、令和8年に49年振りとなる青の煌めきあおもり国スポ・障スポが本県、そして本市で開催されることはさらなるスポーツの普及・振興と共生社会の実現につながるものであり、本市の歴史、文化等を全国の方々に知っていただく絶好の機会でもあります。

両大会の開催に向けて市民、関係団体及び行政等、官民一体となる取り組むことは、今後の本市スポーツにおけるレガシーの創出になるものと期待しております。

このような意義ある両大会を成功に導くために、市民・各種関係団体・行政からなる「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ五所川原市実行委員会」を設立し、五所川市民の総力を結集して所期の目的を達成しようとするものであります。

令和6年7月8日

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ五所川原市実行委員会発起人

五所川原市長

五所川原市議会議長

五所川原市副市長

五所川原市教育長

五所川原市スポーツ協会会長